



東京教区時報

きょうくニュース

第567号

2024年4月7日

日本聖公会東京教区

港区芝公園3-6-18

編集 広報委員会

WEB:<http://nssk.org/tokyo> E-MAIL:comm.tko@nssk.org Phone:03-3433-0987 Fax:03-3433-8678

◇4月の代禱・信施奉献先

▽つきしまキッズデイ▽児童養護施設のため▽月島聖ルカ保育園のため▽神学校のため(21日)

◇人 事

執事 クララ 佐久間 恵子

4月1日 主教座聖堂付とする
下町教会グループでの協働ならびに聖アンデレ教会主日勤務を命じる

司祭 ジェームス 須賀 義和

4月1日 北関東教区との協働のため、東松山聖ルカ教会にて月1回の礼拝奉仕を命じる

司祭 ダビデ 倉澤 一太郎

4月1日 北関東教区との協働のため、日立聖アンデレ教会、下館聖公会にてそれぞれ月1回の礼拝奉仕を命じる

執事 セシリア 高柳 章江

4月1日 北関東教区との協働のため、小山聖ミカエル教会にて月1回の礼拝奉仕を命じる

◇北関東教区東京教区宣教協働特別委員会

宣教協働小委員会「巡礼」企画のご案内

日時:4月13日(土)11時~15時頃

東京教区聖マルコ教会並びに滝乃川学園を訪問します。

聖マルコ教会と滝乃川学園の繋がり、日本における福祉の源流と聖公会の関係について、発見と学びの時間を持ちたいと思います。

参加希望の方は、4月7日までに junreiteam@googlegroups.com までご連絡ください。

2023年日本聖公会宣教協議会からの呼びかけ

ここからまた歩きはじめよう

~いのちに仕え、となりびととなるために~

1. 神のみ声に耳を傾けよう

2. 人々の声に耳を傾けよう

3. 世界の声に耳を傾けよう

応募の状況によって、参加をお断りする場合があります。ご了承のほどお願いいたします。

▽いのちをみつめる祈りの集い

「宗教二世の痛みと日本の憲法」

日時:4月8日(月)20時~21時

語り:夏野ななさん(宗教二世支援団体 一般社団法人スノードロップ代表)

主催:日本聖公会正義と平和委員会 憲法プロジェクト

参加方法:事前申し込みは不要。以下のURLよりZoomに直接お入りください。<https://onl.sc/1LPhKyg>



今週・来週の予定

4月7日~20日

7(日)復活節第2主日

9(火)礼拝音楽委員会(Web)
正義と平和協議会

11(木)広報委員会(Web)

12(金)信仰と生活委員会

14(日)復活節第3主日

15(月)下町グループ牧師協議会
人権委員会

16(火)常置委員会

17(水)教役者レクイエム

19(金)共育プログラム・リトリート

◆教役者レクイエム

＊聖アンデレ教会 HP よりライブ配信します。

<http://www.st-andrew-tokyo.com/web/>

日 時：4月17日(水) 10時30分

場 所：聖アンデレ主教座聖堂

説教者：司祭 荻原 充

▽司祭 落合 吉之助▽司祭 稲垣 陽一郎▽主教
ジョン マキム▽主教 上田 一良▽司祭 田井 正一
▽司祭 大藤 鎔三郎▽司祭 大木 弘行▽司祭 大野
敏之▽司祭 松原 喜七▽執事 八木 立三▽主教
大久保 直彦▽司祭 中島 修▽伝道師 織間 小太
郎▽司祭 木村 信一▽司祭 島田 忠雄▽主教 元
田 作之進▽司祭 山口 信太郎▽司祭 伊勢 恭哉
▽伝道師 ヘレン ボイド▽伝道師 安枝 武雄▽
司祭 早川 喜四郎▽主教 蒔田 誠▽伝道師 鈴木
繁子▽司祭 小林 彦五郎▽伝道師 齊藤 伊佐子
▽伝道師 後藤 房蔵

活動期間は以下の通りです。

① 2024年4月1日(月)～4月5日(金)

活動日：4月2日(火)～4日(木)

② 2024年4月22日(月)～4月25日(木)

活動日：4月23日(火)～24日(水)

③ 2024年4月29日(月)～5月3日(金)

活動日：4月30日(火)～5月2日(木)

詳細は教役者経由ですでに教会に配布された募集要項(ボランティア登録票付)をお読みください。参加ご希望の方はボランティア登録票にご記入の上、所属教会の牧師を通してお申し込みください。

【京都教区 能登半島地震対策室より】

「ボランティア募集」

京都教区能登半島地震対策室が4月1日から単発で支援活動を行うことになりました。

対策室は京都教区のみならず他教区の方々にも支援活動(ボランティア)への参加を呼びかけています。

2024年1月1日 能登半島地震のための祈り

いつくしみ深い神よ、1月1日の能登半島地震により、世を去った人びとを、あなたのみ手のうちに抱いてください。愛する者を失い、悲しむ人びとに、あなたの慰めといやしがありますように。

いまこの地震の被害を受け、生きることの困難さに直面している人びとと共に祈ります。住まいを失った人、生活に必要なものを得られない状況にある人、病やけがを負った人、心身の不調を感じている人、弱い立場に置かれている人を、主が守り支えてくださいますように。救援のために働いている人を力づけ、必要な支えが届けられますように。わたしたちが心を合わせ、隣人としてのあゆみを起こしていくことができますように。

これらの祈りを、悩み苦しむ者の助け主、いのちの糧である、み子イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン